

7 2024

JIA 近畿支部 住宅部会通信



目次

表紙写真

6月例会「並びの住宅」

例会報告

6/30 JIA 近畿支部住宅部会 6月例会

Column

Information

24.6.30

JIA 近畿支部住宅部会 6月例会

担当世話人：白須寛規 伊藤孝

参加者：正会員・スタッフ 15名 計 18名

「見学会&トーク-5年目の 『並びの住宅』」



6月例会は、白須寛規さんの作品、『並びの住宅』の見学会とクライアントを交えたトークを開催しました。

13時から約2時間、隣り合う2つの住宅を自由に行き来しながらの見学は、クライアントがあたたかく迎えてくださったこともあり、心地よくそしてゆっくり考えを巡らすことができました。竣工後5年目を迎える住宅は生活・暮らしが感じられ、また2つの世帯の対比がよくわかり、計画の難しさや面白さがあらわれていました。

15時からのトークは、建築家とクライアントの出会いから計画・設計に至るまで双方の掛け合いで、2世帯住宅を建てるに至った経緯や境界線の決定に半年以上の時間を要したことや、それから計画や設計に相当の期間を費やしたやり取りについてお話いただきました。建築家の意思決定にクライアントが関与できる余白が大きくあり、包括的に一緒につくってきたことがよくわかりました。

トークの後半は見学会の際に参加者がポストイットに書いた質問や感想を頼りに進めていきました。まちへの関係性からディテール、5年を経て感じたことなど、1時間があっという間に過ぎました。その中で白須さんの「設計の意図が成長していく」という言葉が印象的でした。

5年という歳月の生活・暮らし、そしてこれからの変化（成長）も許容し大きく包み込むような住宅。そんな印象を受けました。

伊藤孝



Column

「ある町医者の記念館」

しばらく前に鹿児島県のさつま町に訪れた際、同町内に確か堀部さんの設計した建物があったことを思い出した。スマホで調べるとあるお店の電話番号と日曜休館との表記にたどり着く。本日は日曜日。

「外観だけか・・・」と考えながら電話してみる。近所のお店の方がカギを管理されていて、休日にもかかわらず急な現地見学のお願いを快く受け入れてくださり、堀部さんの処女作「ある町医者の記念館」と「南の家」を見学した。

記念館は大きな曲面の天井（高いところで5.6m）のおおらかな空間にだ円形の小さな展示室と物置が配されている。南側に向けて開く大きな窓から障子を通した光が緩やかに天井と壁を伝っていく。人が空間を感じる大きなエレメントは光であることを改めて思う。窓の外にある木々の影が窓辺で動き、外とのつながりを感じる。この空間にしばらく身をゆだねていたい。リビングのようにゆっくりと腰掛けて時間を過ごしてみたい。



記念館は2020年JIA25年建築選に登録されている。

「25年以上の長きにわたり、建築の存在価値を発揮し、美しく維持され、地域社会に貢献してきた建築」

さつま町では記念館の活用方法を模索している。この建築が地域の資産として活用され、素敵な空間が長く親しみを持って使われ続けてほしいと思う。



松本和也

竣工：1995年

設計：堀部安嗣

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上1階

用途：文化施設

所在地：鹿児島県薩摩郡さつま町求名 3356-11

Information

- ・ 7月例会 2024年7月17日(水) 開催済み
住宅見学会+レクチャー(北海道の建築家による)
- ・ 世話人会 2024年8月5日(月)16:30~17:30
@Studio Eight Architect(八木さん事務所)
+ZOOM

近畿支部住宅部会:

<https://www.jia.or.jp/kinki/category/iinkai/jyutaku>

住宅部会 HP:

<http://jia-kinki.org/jyutaku/>

住宅部会 FB:

https://www.facebook.com/profile.php?id=100064617584626&ref=embed_page

住宅部会Instagram:

https://www.instagram.com/japan_architects_kinki/